



学長 小池 明

明けない夜はない…では、その後に？

本号が届く頃にはコロナ禍終息の見通しが立っていることを祈るばかりです。あなた方学生諸姉、御家族、私たち教職員が率先して感染対策に努めることが、自衛だけでなく社会的責任と私は考えます。教育機関である本学の責務は大学の営みを平時に近く保つことで、学業、学生生活に低下を来さぬことが第一義です。又、絶対の解決か否かはさて措きワクチン接種により感染の拡大が止まることにも期待したい。

我々日本人が自分だけの問題でなく世界中の人々も同じ悩みで苦しんでいるのだと広く実感したなら、国際感覚に欠けると言われがちな日本が皮肉とは言え分かりやすい国だと見てもらえるかもしれません。コロナのもたらしたものは病自体に留まらず、他人に対する猜疑心、不信感を従来以上に生み出した。政治、リーダーの在り方・資質、人々の処し方、倫理観の違い等に加え、国際間でも国のエゴ、何より格差が国民の生命の価値まで左右することが露わになってしまった。

若い皆さんにはこれらのことを自らのこととして考えて戴きたい。併し、多くの人が心を一つにしてコロナと戦い、悲劇を味わった人々への共感と分かち合う気持が広く芽生えた。人間は捨てたものではない。これを奇貨として今後、国を超えた連携が深まることに希望を持ちましょう。傍観者でなく自ら現代史を作っているという自覚を持つ若い人に新しい世界の創造を委ねたいと切に願っています。



「良い加減」

幼児教育学科 学科長
佐藤 厚

当たり前だった生活に我慢を強いられ早一年半が過ぎようとしています。不便さを感じつつ、一方で通信機能を駆

使した便利さとも同居しています。先日、附属幼稚園の子どもが「これあげる、手だして。」と自分の手と私の手が触れないようにクローバーの花をそっと乗せてくれました。新しい生活スタイルは、幼い子にも対面しつつ触れ合いを加減する、そんな心遣いが芽生えているのでしょうか。これからも、極端な生活変貌ではなく「良い加減」と付き合いいきたいものです。



あっぱれ、コロナ

総合文化学科 学科長
大橋 敦夫

新型コロナウイルスとの付き合いも、2年目に入りました。ウイルスが侵すのは、我々の肉体だけはありません。心

の弱いところ、社会や政治の行き届かないところなど、さまざまな弱点を突いてくるのが、よくわかりました。

危機的状況になると、その人・その社会の真価が問われます。マスクが不足した際に、買い占めたり、転売したりする大人が現われました。一方で、貯金を切り崩し、マスクを自作して自治体に寄付を申し出た女子中学生が、お隣の県にいましたね。

今こそGo to Campus! 未来を切り開く若者の支援に努めたいと強く思っています。

幼児教育学科Topics

学科紹介

「自然保育」「福祉社会」「芸術表現」の各コースがあり、いずれも幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得を目指します。

附属幼稚園でのプレ実習を始め、裏山での自然保育、あそびプロジェクト、ゼミ活動等を通じて日常的に子どもたちと触れ合うことができ、魅力的な保育者を養成しています。



SG 特待生

幼児教育学科1年
東條 礼佳さん(高田北城高校出身)

私はSG特待生入試に合格し、上田女子短期大学へ入学しました。この入試を受験するにあたって行った対策は、まず2年分の過去問題を取り寄せて出題傾向を確認しました。英語は教科書を繰り返し音読しました。国語は古典に重点を置き、社会は現代社会の内容について、教科書や参考書から重要と思う内容をノートにまとめ、繰り返し赤シートを使って覚えました。家に帰ると勉強に集中できないため、放課後や休み時間を勉強時間に充てました。SG特待生入試に合格できたのは、自分を信じて最後まで繰り返し、ノートの内容を覚えたことだと思います。

今は、保育士資格や幼稚園教諭二種免許状等、取りたい資格を取得できるように、日々の授業に真摯に取り組んでいます。また、オープンキャンパスのスタッフや、その他ボランティア、サークル活動にも積極的に参加して、2年間で様々な経験を積みたいと思っています。



資格 特待生

幼児教育学科2年
日達 寧々さん(赤穂高校出身)

1年を終えて2年次の目標は、子ども達にあわせて、子ども達の顔を見ながら色々な曲が弾けるようになることです。本学には、ピアノ練習室がたくさんあり、空き授業や休日にも、自由に使用できるので、日々の練習に励んでいます。

私は将来、自然保育を行っている園、または少人数保育(家庭的保育)を行っている園に、就職したいと考えています。理由は自然をたくさん感じながら、子ども達一人ひとりと密接に関わった保育をしていきたいからです。そのため自然保育に関する授業がとても楽しく感じます。この授業は基本的に自分たちが学びたいことを自主的に実践して学びを深めます。里山プロジェクトでは実際に子ども達と関わりながら、子ども達が自然の中でどのように遊び、何を学ぶのか知ることができ、とても楽しいです。

信州上田“やまほいくの里山”プロジェクト

長野県が推進している、子どもが主体的にのびのびと遊び、学べる「自然保育(やまほいく)」の研修会を現場の保育者、保育・幼児教育に関心のある地域の方々へ広く提供しています。

学生たちは「やまほいく探検隊」というチームを組み、教員とともにこのプロジェクトの運営をしています。

本プロジェクトが始動してちょうど5年目の2020年度は、地に足を付けてじっくりと考える時間にしたいと考え、これまで保育現場の先生方、行政職や保護者の皆さま、学生たちと共に学び合ってきたことを言語化することに。

このたび、長野県内外の自然保育実践、そして、これまでの研

修会等でお世話になった先生方にご寄稿やお話いただいたことをまとめ、1冊の本『子どもと自然保育BOOKしあわせみつけた「自然と共に生きよう～素敵な発見、出逢いから～」』が完成しました。(令和2年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業)

これからも、より良い保育実践を探究している皆様と共に、自然保育の可能性を探って参りたいと切に願っております。自然保育BOOKをご希望の方は、地域連携センター(✉ chiiki@uedawj.ac.jp)までご連絡ください。たくさんの皆さまのお申込みをお待ちしています。



やまほいく特設ページを開設いたしました！
自然保育BOOK内の対談ページやプロジェクトからのお知らせをご覧いただけます。ぜひご覧ください。



総合文化学科Topics

学科紹介

さまざまな免許・資格・検定にチャレンジする学生が、活気に満ちたキャンパス・ライフを送っています。蔵書数8万冊を誇る附属図書館、自然光あふれる学生ホール等、各自がお気に入りの場所で目的達成にむけて励んでいます。



推薦
特待生

総合文化学科1年

はた かりりか
羽田 莉里花さん(大町岳陽高校出身)

私は将来たくさんの人を幸せにする職業に就きたいと考えています。そのためにブライダルについて学んでいます。短大の授業では、模擬結婚式を行い、フラワーデザインや色彩などブライダルに関することをたくさん学べるのでとても勉強になります。

2年間の短大生活では、勉強だけでなく、サークル等にも所属し、親しい友人とたくさんの思い出を作りたいと思っています。また、コロナウイルスの流行で制限されてしまうことも多いですが、自分の目標を明確にして成長していきたいです。資格や検定にも積極的に挑戦し、「なりたい私」を目指して頑張ります。

学生寮に住んでいるので、休日に同じ寮の友人たちと上田市内の美味しいもの探しや名所に行くことも楽しいです。



総合文化学科2年

いいだ あかね
飯田 茜さん(上田千曲高校出身)

2年次の目標は、残り少ない短大生活を思いっきり楽しみ、勉強面では資格を取れるよう頑張りたいと思っています。また課外活動では、袴姿で別所線に乗車し、乗客に別所線沿線についてガイドする、別所線観光ガイドボランティアチームに所属しています。コロナの影響で昨年から一度も乗車でできず、他の活動はできても車内ガイドは行えずにいるので、ぜひとも在学中に乗車し、乗客の皆さんの前で観光ガイドが出来ればと願っています。サークルは茶道サークルに所属しています。

資格取得では、1年次に医療事務技能審査試験に合格しました。また情報関係の資格では、MOS検定のExcelはすでに高校時代に取得していたので、WordとPower Pointの試験に挑戦し、合格しました。今は情報スキルの授業でAccessを習い、試験に向けて頑張っています。進路については、自分が納得して働いていける場所を探して就職活動中です。実現に向けて頑張りたいです。

『旧中込学校所蔵教科書目録・戦前篇』を作成



大橋研究室が主体となり、司書課程や教職課程の学生とともに作成している長野県内の教科書目録の第6弾が完成しました。今回は斎藤研究室も加わり、1年をかけて『旧中込学校所蔵教科書目録・戦前篇』を令和3年3月に刊行しました。

旧中込学校(佐久市)は、1875(明治8)年に地元の有志により建設され、現存する擬洋風建築の校舎でも最古級であり、重要文化財に指定されています。こちらには、往来物(寺子屋で使用された教科書)や戦前・戦後の教科書など、貴重な資料が多数保存されています。今回の目録では、往来物と戦前の教科書約2000冊を調査・記載しました。

調査の結果から、上田市原町にて明治期に活躍していた出版人である伊藤甲造が作成した教科書も複数所蔵されていることが分かりました。また、学生によるコラムも複数あり、「読んで楽しい」目録になっています。

2021年5月12日に信濃毎日新聞社の取材を受けました。5月14日付東信版26面にも掲載されました。新聞記事も併せてご覧ください。



大橋敦夫総合文化学科長 (理事・教授) 「短期大学教育功労者表彰」 受賞

昭和25年に発足した「短期大学教育制度」の70周年にあたり、令和2年、文部科学省は、短期大学教育に長く従事し、その功労が顕著な者および短期大学教育に特に功績があった者を表彰しました。本学では、32年にわたり教員として教育研究活動に尽力し、本学の発展に貢献した、大橋敦夫総合文化学科長(理事・教授)が「短期大学教育功労者表彰」を受賞いたしました。

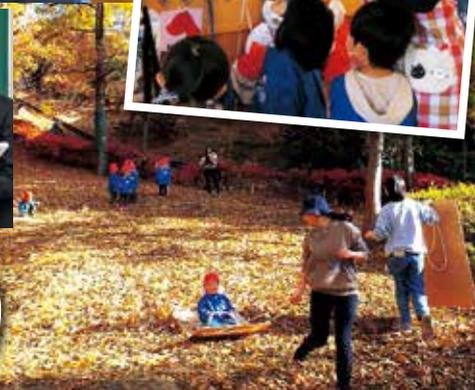


実習について

幼児教育学科の学生は2年間で5回の実習を行います。そんな実習のスタートは附属幼稚園でのプレ実習です。園で子どもたちと一緒に遊び、生活をする中で疑問に感じたことを授業で確認していきます。幼稚園が隣接しているので、授業で園に出かけ、遊びの様子を目にしやすい環境です。

総合文化学科教職課程の学生は1年次に介護等体験、2年次に中学校での教育実習を行います。事前に本番さながらの模擬授業を実施し、正規の実習に臨みます。

実習では「うまくできた」と手ごたえを感じることもあります。失敗やどうしたらよいか分からずに終わってしまうこともたくさん経験します。教職員はその後の成長に活かせるよう、サポートをしています。



大学改革室新設

本学がこの先10年、20年と地域に永く愛される短大となるため、2020年11月に『大学改革室』を開室しました。改革の方針として「2+2+αプラン」「デザイン教育の導入」「外部との連携」「地域に開かれた短大」等を掲げ、学長のリーダーシップのもと改革に取り組んでいます。

【具体的な取り組み】

- 2021年1月 長野県工科短期大学校と包括連携協定を締結
- 2021年3月 戦没画学生慰霊美術館『無言館』との連携模索
- 2021年6月～ 長野県工科短期大学校×上田女子短期大学
イメージキャラクター共同製作プロジェクト始動
- 2021年7月29日 市内小学生・中学生のための長野県工科短期大学校&上田女子短期大学キャンパスツアー ～未来の「わたし」をみつけよう～ 開催予定
- その他 SNSでの情報発信の強化、学生チームによるフリーペーパーの製作、両学科発信の新プロジェクトに対する支援 等



▲2021年1月29日
長野県工科短期大学校 上田女子短期大学包括連携協定調印式
(本学北野講堂にて開催)

今後も本学の更なる発展のため、教職員一丸となって改革を進めてまいります。

訃報

松田幸子前学長 逝去

学校法人北野学園 上田女子短期大学 前理事・前学長松田幸子先生は、令和3年5月19日に逝去されました(享年90)。



松田前学長は、昭和56年より非常勤講師として入職後、昭和58年4月より国文科教授として着任。平成11年4月の副学長就任を経て、平成13年から平成22年3月まで9年にわたり学長を務められました。

在籍中には、平成6年に文部大臣表彰(地方教育行政功労者)、平成22年には瑞宝小綬章を受賞し、本学園の運営・発展のため、また本学の使命である女子教育の充実に尽力されました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに謹んでお知らせいたします。

新任教職員紹介



幼児教育学科 准教授
多田 幸子
担当科目:発達心理学他



幼児教育学科 専任講師
関 裕子
担当科目:子どもの理解と援助他



幼児教育学科 専任講師
今井 香織
担当科目:キーボード・ソルフェージュ他



総合文化学科 専任講師
遠田 将大
担当科目:教育心理学他



入試広報室室長
小林 善一

高大連携事業

第7回 うえだ七夕文学賞 (上田西高等学校と共催)

応募締切日 ▶ 9月7日(火)

【選者】

短歌 ▶ 東洋大学名誉教授 神田 重幸先生
俳句 ▶ 高浜虚子の孫、「玉藻」名誉主宰 星野 椿先生
自由詩 ▶ 上田女子短期大学・上田西高等学校 教員



● 募集要項は大学のホームページに掲載しています。
たくさんのご応募をお待ちしています。



- V 君の名のとなりけに結ぶ願ひごと
短冊だけが揺れて寄り添う
(一般の部 短歌)
- V 香水がすくく記憶を縛ってる
(大学生の部 俳句)
- V ひまわりと手と足伸ばし背比べ
(高校生の部 俳句)
- V 夏の夜がわいい浴衣羽織る友
見つめる先に(宙)に咲く花
(中学生の部 短歌)
- V 天の川がなのように星泳ぐ
(小学生の部 俳句)
- V フラミンゴの片方の足はどこにあるんだろう
ポケットの中に入れてみるだけ
(園児の部 自由詩)

前回の入賞作品
(一部抜粋です)



学生たちの地域貢献活動



別所線全線開通
(2021年3月28日)

別所線ガイドボランティアチームが記念列車に乗りし、関係者の皆さまとともにお祝いをしてきました。



これから開通した
赤い鉄橋を渡ります!

別所線全線開通

赤い鉄橋を描いたオリジナルデザイン封筒に入れたマスクと別所と地域の皆さまがより強くつながれるように五円玉(ご縁玉)を配布しました。



応援よろしくお願いします!



別所線がある
Instagram
はこちらから

うえだ乙女百人一首



うえだ七夕文学賞に寄せられた過去9,000作品の中から上田にまつわる歌を集めて、オリジナルデザインの百人一首カルタを作り、市内の全中学校へ寄贈いたしました。



車内でのガイドを休止してから
約1年ぶりのガイドです。

別所線ガイドボランティアチーム

上田電鉄x上田ケーブルビジョンコラボ番組『ローカル5000系』準レギュラー出演。毎月土日に放送中! 新作動画も公開中です。



おうちで別所線ガイドが楽しめる動画はこちらから

公開講座

宮本隆治客員教授による
コミュニケーション講座

とき ▶ 9月17日(金) 13:00~14:20
会場 ▶ 上田女子短期大学 北野講堂
総合文化学科の学生と一緒に受講。

入場無料・要申込



芸術の森 北野講堂シリーズ2021

立川談慶独演会
(上田市出身)

とき ▶ 9月18日(土)
開場 13:30 開演 14:00
会場 ▶ 上田女子短期大学 北野講堂

入場無料・要申込



後援会だより

会長ご挨拶



令和3年度 後援会 会長
堀本 太郎

今年度、後援会の会長を務めさせていただき堀本と申します。一年間よろしく申し上げます。

さて昔のことですが、恩師からこんな話を聞いたことを思い出しました。幸福とはすなわち「口福」です。口に関わる「食べ物」と「言葉」のことを意味します。生きるための食べ物があること、人の心を温かくしてくれる言葉があること、この二つの福が揃っている時、人は幸せなのです。

コロナ禍の今だからこそ、子どもたちにこの言葉の持つ意味や尊さを伝えていきたいと私は感じています。

日々、子どもたちのために多方面にわたり教え導いてくださっている教職員の皆様への感謝の気持ちを原動力にして、子どもたちが安心安全で有意義な学生生活を送れるよう後援会の活動ができたと思います。どうか会員の皆様方の力強いご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和3年度 後援会役員

(敬称略)

会 長	堀本 太郎	評 議 員	江崎 由美
副 会 長	北澤 芳幸	//	田中 隆利
//	龍野 正和	//	堀内 由紀
監 事	宮嶋由貴子	//	溝口 宏子
//	青木 恵美	//	高橋 公
新潟支部長	楡井 正美	//	風間 砂弓
//副支部長	東條 春美	//	高相真寿美
評 議 員	上野 洋子	//	中村 昭夫
//	中山真奈美	//	羽田 綾子
//	宇羽野 学	//	加藤加奈江

可搬式ジェットヒーター寄贈

感染症対策には、手洗い・消毒と共に換気が重要とされています。冬季中も密を回避するためには、換気が欠かせません。しかし、わずかな時間でも、冷気が入り込むことで、学内が冷え込むことから、令和2年度、後援会より講堂や教室、廊下等でも手軽に移動できる「可搬式ジェットヒーター」を2台寄贈しました。

今後も学生たちの生活環境・教育環境の充実に向け、学生たちの意見・要望を取り入れながら、支援を継続してまいります。



令和3年度 上田女子短期大学後援会 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記のとおり行います。当日は後援会会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・就職状況等についてご説明します。また、今年度も本学同窓会役員会および同窓会新潟支部役員も出席し、卒業後のサポート体制等をお伝えするとともに、「社会が求める人材」について、進路関係の講演を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願い致します。

(申込締切:9月22日水) ☎ 0268-38-2352)

皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 令和3年10月16日(土)
午前開催(予定)

場 所 高陽荘(上越市)
(高田駅から徒歩7分)
☎025-522-2930



令和2年度新潟支部総会の様子

学校法人北野学園 上田女子短期大学 「創立50周年記念事業募金」について

本学はお陰様で2023年に、上田女子短期大学創立50周年を迎えます。1973年の開学以来、地域に根差した短期大学として着実にその歴史を積み上げ、1万人を超える卒業生を社会に輩出してまいりました。今後も地域に根差した高等教育機関として研究活動・地域の社会人をはじめとする人材育成を支援し、広く社会に貢献することを使命に、教育活動に取り組んでまいります。

後援会では、平成29年4月から令和2年12月まで募集しておりました「上田女子短期大学夢スタート募金」に、計140万円の寄附を行い、教育環境整備へ支援いたしました。

「創立50周年記念事業募金」も「夢スタート募金」に引き続き、教育研究活動の更なる充実を目的とした施設設備の拡充を目的に寄附募集が行われます。

学生たちがより充実した環境で大学生活を送れるよう、会員皆様のご支援・ご理解の程よろしくお願い申し上げます。



父から娘へ



幼児教育学科2年
田中 美希／父・隆利

娘が小学校6年生の時、授業参観で将来の夢と題した作文の発表会があり、私は娘が保育士になりたいという夢を抱いていることを知りました。

高校進学後に保育士を目指すことを決め、ピアノが弾けるようになりたいとの思いから3年間ピアノ教室に通い、具体的な努力をしていました。

そして今、上田女子短期大学の2年生となり、小学生から抱いていた夢の実現まであと少しです。就職に向けて思い悩む事もあるようですが、悔いの残らない選択をして欲しいと思います。

社会人になり楽しい事も辛い事もあると思いますが、これからも親として応援していきます！

いま想いを語る



総合文化学科2年
北澤 綾菜／父・芳幸

入学当初は全国緊急事態宣言下で休校の影響もあり、授業が行われるのか、友達もできるのか、非常に心配した日々を過ごしていたのを覚えております。

そんな中でも、いち早く通常授業に戻していただいたお陰で、娘は新たなサークルを立ち上げて友人を増やすなど、厳しいながらも充実した学校生活を送っています。

現在も積極的に資格を取得し、悩みながらも工夫しながら進路活動を進めたことは、社会に出てからも、大きな糧になると考えます。

今後は将来の自身のあるべき姿、地元への貢献を想像しつつ、残りの学生生活で挑戦できることを続けてほしいと願います。

母校への入学



幼児教育学科1年
塩入 真白／母・明子

娘が私の母校に入学し、忙しくも充実した自分の学生生活を思い出した。大勢の友達と過ごすことが本当に楽しかった。空き時間にはよく図書館に行き、いろいろな先生方とお会いし、楽しい話で盛り上がった。娘も短大でたくさん素敵な出会いや楽しい機会に恵まれればと思う。

娘は保育士を目指し幼児教育科に入学した。短大生活では短い期間で、社会人に向けて様々なことを学ばなければならぬ。多忙ではあるが、楽しみながら、今しか出来ない経験をたくさん積んで、充実した学生生活を送ってほしいと切に願う。

母から娘へ

総合文化学科1年
高柳 冴瑛／母・なか枝

わたしは総合文化学科の前身である国文科の卒業生です。当時は歴史も浅く、取れる資格も今と比べれば少ないものでした。

娘から、今の上田女子短期大学のキャンパスガイドを見せてもらい、そのコースの多様さに驚きました。

また、オープンキャンパスで訪れた母校の充実した施設に目を見張り、正直今の学生の皆さんがうらやましいと感じました。

娘には、この恵まれた環境の中で、日々を謳歌し、糧にして自立した人間になってほしいと思います。

姉から妹へ

総合文化学科1年
宮尾 穂乃香／姉・梨衣奈

「読書をするのが好きで本に関する知識を得たい」と思い、上田女子短期大学の総合文化学科に進学しました。講義を受講して得た知識は私の知見を広めてくれるものでした。勉強は大変でしたが、友達と話をする時間が学生生活の中で楽しかった思い出です。

2年間しかない学生生活は忙しいと思います。その2年間の中で学生のうちにできるだけ経験を積んでほしいと思います。

上田女子短期大学に進学して良かったと思えるように、日々を過ごしてほしいです。

同窓生優遇措置について

本学の卒業生、在学生の子女または姉妹で、推薦入学試験及び一般入学試験を受験して合格した方の入学に際しては、

入学金の半額(125,000円)を免除

します(R2年度実績10名)。ただし、総合型選抜(旧AO)・推薦特待生・SG特待生・資格特待生の合格者には、同窓生優遇措置は適用されません。

詳細は本学入試広報課までお問い合わせください。

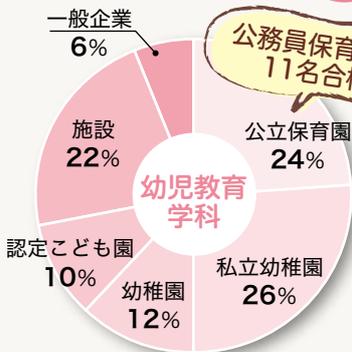
進路サポート室は、「笑顔で働ける場所へ」をテーマに

進路サポート室より

夢に向かって頑張るあなたを応援します！

幼児教育学科

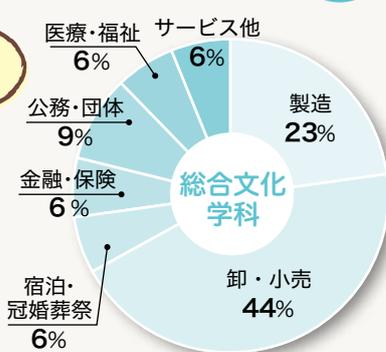
令和2年度 就職率 **100%**
(R3.5.1 現在)



公務員保育士に
11名合格

総合文化学科

令和2年度 就職率 **96%**
(R3.5.1 現在)



資格NEWS

■ 幼児教育学科

【自然体験活動指導者養成講習 (NEALリーダー)】

この講習は、自然体験活動(自然観察・キャンプなど)を通し、子どもたちの感性を磨くための支援・指導について学びます。令和3年1月に実施した講習には16名の学生が参加し、遊びの中でのリスクマネジメントを考え、互いに発表しあったり、裏山で自然を感じて楽しむなど、実践的な学びを体験しました。



■ 総合文化学科

令和2年度は、23名(29資格)に報奨金が授与されました。また、コロナ禍の中でも積極的に受験したことが認められ、色彩検定協会より奨励賞をいただきました。



公務員保育士合同説明会

令和3年1月7日(土)に「公務員保育士合同説明会」が開催され、7自治体が出席してくれました。全体説明会では興味のある自治体以外にも関心の幅を広げ、その後の個別説明会では各自治体の保育環境などを詳しく聴くことができました。また、試験の日程や内容を知ることによって、今まで曖昧だった気持ちを引き締める場となりました。

学内企業研究セミナー

令和3年2月9日(火)、「学内企業研究セミナー」を開催しました。地元12社の企業を招き、各業界の業務内容について説明を受けました。

来学した企業の中には、本学の卒業生が3名おり、現在の様子や仕事の説明に加え、実体験をもとに就職活動についてアドバイスがありました。先輩のエールは今後の就職活動を後押ししてくれたことでしょう。

参加した学生は、様々な企業から直接話を聴くことで視野が広がり、知らなかった業界にも興味を持つことができました。

● 令和2年度資格試験合格者

資格試験名	合格者数
MOS (Word,Excel,PowerPoint)	31
色彩検定 2級/ 3級	9
パーソナルキャリアリスト検定	9
日商簿記検定 3級	2
秘書検定 2級	10
ピアヘルパー	5
ブライダルコーディネーター技能検定 3級	8
アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験	26
医療事務技能審査試験	13

オープンキャンパス2021

新潟サマーセミナー	8月7日(土) 10:00～13:00
サマーセミナー	8月22日(日) 10:00～15:00
オープンキャンパス秋	9月25日(土) 13:00～15:30

ミニオープンキャンパス

10月16日(土)	11月27日(土)
2022年1月15日(土)	2月5日(土)
スタート&スプリングセミナー	
2022年3月26日(土)	



いつでも
オープン
キャンパス

ホームページに
専用ページを開設し
ています!!

編集後記

マスク生活も2年目。顔の半分以上を覆うマスクは、顔立ちもわからず、表情もわからず。コロナ禍により習慣として身についたことは、このままで都合が良いと感じることもあれば、不便なことも多々あります。でも、今回の取材をとおして見たことは、コロナを理由にせず、自身の夢や希望に向かって様々なことに挑戦し、努力し続ける学生の姿でした。短い短大生活、歳を重ねて振り返った時、満足できる2年間でありたいように！

最後に「短大通信vol.85」発行にあたり、ご協力くださったすべての皆様、心より感謝申し上げます。☺



学校法人 北野学園
上田女子短期大学
幼児教育学科/総合文化学科



上田女子短期大学
通信のバック
ナンバーはこちら



Instagram

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620 TEL0268-38-2352代 FAX0268-38-7315 E-mail info@uedawjc.ac.jp

ホームページ <http://www.uedawjc.ac.jp>